

内閣府がこのほど発表した「介護ロボットに関する特別世論調査」で、65%の人が「介護を受ける際に介護ロボットを利用してほしい」と考えていることが分かった。介護する際にも60%が利用を希望した。調査は今年8月、全国の成人3,000人を対象に実施。1,842人が回答した。

在宅での介護経験のある人は38%。苦労した内容

(複数回答)は排せつ(63%)、入浴(58%)、食事(49%)が多かった。

介護ロボットの認知度は、74%が「知っていた」と回答。魅力(複数回答)としては、介護者の心身の負担が軽くなる(64%)、介護者に気を遣わなくて良い(42%)を上げる声が多かった。

(福祉新聞・第2641号 2013年10月14日)